

松永鉄兵の活動報告

松永鉄兵（まつなが てっぺい）

昭和49年1月26日、市川市国府台生まれ、33歳。国府台小学校、フロリダ州マイアミ・キーズケン小学校を経て、府中第一中学校卒業・市川学園高等学校卒業・明治大学商学部卒業。アクセンチュア株式会社（旧アンダーセン・コンサルティング）官公庁事業本部にて官公庁、独立行政法人、教育機関のコンサルティングに従事。趣味：アメリカンフットボール（現在、日本社会人リーグ清水建設アメリカンフットボール部に所属）



国立精神・神経センター国府台病院の今後について

国立精神・神経センター国府台病院については、厚生労働省から平成17年11月8日に同病院の移譲先の募集に関する要領が公表され、平成19年5月1日の移譲に向けて様々な検討が重ねられて来たところではありますが、移譲先の決定予定日であった6月末を過ぎた、7月3日に厚生労働省より「移譲先団体の決定を見送り、今後の移譲の方向性を再度検討する」との旨が急遽発表され、同病院の民間移譲が急遽、白紙撤回されたところがあります。松永鉄兵は、この発表による、後継医療機関の選定や公共用地の譲渡（市からの要望事項を踏まえて実施）の白紙撤回を受け、今後の対応について「現在休診している科目（産婦人科・小児科）の復活を含めた病院機能の維持」「移譲と切り離れた道路・公共施設用地の譲渡の早期対応」の2点を強く要望するとともに、9月議会において、これらの問題に対する市の対応および周辺地域の整備の方向性（6月議会での質問にて公表）について、あらためて確認・要望を行い、下記の方向性が市より示されたところがあります。

9月議会で確認された方向性

① 病院の運営に関して

・診療機能

休診している科目の診療体制の確保し、救急医療体制の強化するとともに、これまでの診療機能を将来にわたって継続していくことを、厚生労働省及び病院側に更に要望し、協議していく。

・運営体制

国府台病院を含む国立精神・神経センターは、平成22年度までに独立行政法人化されることになっており、それまでに移譲の方向性も含め、どのような経営体制にするか再検討される。

② 周辺地域の整備に関して

病院敷地の一部を道路・公共用地として譲渡する件については、病院移譲とは切り離し、早急に対応するように要望していくとともに、関係者の協力を得ながら検討していく。

・周辺道路の整備

北側：一方通行道路の改善を含め12m幅の道路として整備

西側：県道の渋滞解消を念頭に、市川側からの右折レーンを含めた交差点の整備

東側：住民の安全性、利便性確保のため6m程度の道路として拡幅整備

南側：病院用地の譲渡に合わせ、将来の公園と病院の境界上に移動し、6m道路として整備

・運動公園の拡充

スポーツセンターの狭隘化の解消を図るため、病院用地の譲渡に合わせ、市が所有する病院内の伝染病隔離病舎跡地・商大のアーチェリーコート用地の交換を行い、一体的に整備していく。財源としては、道路整備と合わせ、国の「まちづくり交付金」を活用。

・地域福祉の拠点、集会スペースの確保

周辺道路や公園等の公共用地の整備と合わせて整備していきたい。用地の譲渡の状況によっては、暫定的に国府台小の空教室、国府台ふれあいの道などの既存施設を活用することも検討。また、院内学級については、今後も存続していくように要望。

病院用地活用の方性



平成19年度に民設民営の保育園整備へ

北総線北国分に程近い、北国分公園に隣接する北国分4丁目の北国分警察官舎跡地については、これまでコミュニティスペースの設置など、様々な意見が出され、松永鉄兵も市に対して、これらの意見に基づき状況確認、要望を行って来たところではありますが、この度（6月議会での質問に対して）市の公有地有効活用協議会での検討の結果、この地域の待機児童の状況や保育施設に対する潜在的な需要の大きさ、子育て支援の核となる施設の必要性などから、市が用地を提供し、民設民営で保育園を設置する方向で決定したところであります。この保育園については、平成18年度中に交付金の申請を行い、19年度に整備を行う予定であります。また、地域からコミュニティスペース設置の要望があることから、保育事業の一つとして、園内に専用スペースを設けて、地域交流スペースとし、地域の交流を積極的に進めていく考えであり、それらの条件を事業者に付していく考えである旨も確認されたところでもあります。松永鉄兵は、この施設の設置にあたり、本当の意味で、地域の人たちが有効的に、積極的に活用できる施設となるよう、要望していきたいと考えております。



議会での主な質問（平成18年）

18年2月議会	本市における情報システムの投資の考え方について (1) 本市の現状とその問題点について (2) 今後の改革の方向性について (3) レガシーシステムの改革について	第二次総合3カ年計画と行政改革の第二次アクションプランについて (1) 計画検討経過について (2) その特色について (3) アクションプラン、その他計画との連携について (4) 市民参加制度（検討）について
18年6月議会	市北部地域における公有地の有効活用について (1) 国府台病院用地について (2) 血清研究所跡地について (3) 北国分警察官舎跡地について	本市IT行政について (1) レガシーシステム改革の実行（計画）について (2) 江南区との情報化分野における交流について (3) 本市における江南区電子図書館の活用状況について
18年9月議会	国立精神・神経センター国府台病院の今後について (1) 病院機能について (2) 病院運営体制について (3) 周辺道路の拡充について (4) 運動公園の拡充について (5) 地域課題への対応について	文化行政について (1) 文化人展の人選について (2) 街かどミュージアム事業における懇談会について

議会での役職・役割



・総務常任委員会 副委員長

副委員長として委員長をサポートし、議会内の組織として、市の総務、企画、文化、消防等に関する議案等の詳細審議を実施

・幼児教育振興審議会 委員

唯一の議会選出委員として、有識者、市民選出委員とともに、市の幼児教育の方向性について、審議・提言を実施

・勤労福祉センター運営委員会 委員

他1名の議会選出委員、有識者、市民選出委員とともに、勤労福祉センターの運営に関して審議・提言を実施